

平成 17 年 11 月 17 日

各 位

会社名 株式会社ピクセラ
代表者名 代表取締役社長 藤岡 浩
(コード番号 6731 東証第1部)
問合せ先 取締役経営企画室長 御前 仁志
(TEL 06-6633-3500)

中期経営計画について

当社は昨年、2005年9月期を初年度とする3ヵ年中期経営計画を策定しスタート致しましたが、その後における市場環境の変化は予想以上に早く、新たな経営計画が必要な状況になっております。また今年度は、創業25周年を迎える記念すべき節目の年であることから、なお一層の発展を目標に、2006年9月期を初年度とする3ヵ年中期経営計画を策定致しました。

I 中期経営方針

当社グループは、放送と通信の融合が叫ばれる中、今まさに蓄積してきた技術を活用して独自の製品・サービスを創造し、デジタル社会において新しい生活を提案する企業グループを目指します。そのための指針として以下の3つの項目を掲げ、各グループ企業の方向性と課題を明確にし、グループ一丸となって継続的な発展と企業価値の向上に努めてまいります。

- | |
|---|
| ① 技術集団の確立
独自性の高い技術力・ノウハウをグループ企業で共有し、既存事業の高付加価値化と新規事業の創生を目指す。 |
| ② 自主独立経営の強化
各グループ企業の財務体質の改善を図り、グローバルな競争力と安定した経営基盤の確立を目指す。 |
| ③ 社会との共生
新しい技術と製品の開発を通じて、便利で快適な生活の実現と地球環境の保護に積極的に取り組みます。 |

II 中期経営目標 (連結)

(単位：百万円)

	05.9 期 (実績)	06.9 期	07.9 期	08.9 期
売上高	8,006	10,201	14,390	20,440
経常利益	△110	43	982	2,060
当期純利益	△155	△29	621	1,277
経常利益率 (%)	—	0.4	7.0	10.5
ROE (%)	—	—	9.6	16.4

*ROE：株主資本当期純利益率

Ⅲ 中期事業戦略

<製品事業>

製品事業については、画像・音声の圧縮伸長技術、デジタル・アナログ半導体を含むハードウェア設計技術などを活用し、製品の高付加価値化、新製品の提案を行い、既存供給先に対する販売拡大および新規取引先の開拓を推進する。

- 1) デジタルテレビ／ラジオに対応した新製品をタイムリーに開発し、市場投入する。
- 2) デジタルテレビ、半導体等の主力製品については海外展開を積極的に推進する。
- 3) コスト競争力を強化し、既存顧客の徹底的なフォローアップを行う。
- 4) グループ企業間の要素技術を結集し、新たな市場を開拓する。

<ソフトウェアロイヤリティ事業>

これまで蓄積してきた画像・音声圧縮伸長関連のソフトウェア技術を応用・発展させ、製品事業と連携した新しい市場開拓を推進する。

- 1) デジタルテレビ／ラジオ関連ソフトウェアの市場シェア拡大を推進する。
- 2) 高精細デジタルカメラ、ハイビジョンビデオカメラ分野の製品開発を推進する。
- 3) 次世代技術の研究・開発を積極的に推進する。

<受託開発事業>

次世代の新技术を積極的に吸収するため、新たな技術分野・製品分野についても積極的に営業活動を展開する。特に携帯電話をはじめとする組み込み系ソフトの開発比率を高める。

<新規事業>

既存のハードウェア・ソフトウェア製品事業の付加価値をさらに高めるコンテンツサービスを軸としたビジネスを展開する。

- 1) デジタルテレビ関連ソフトと連携したポータルサービスを開発、推進する。
- 2) 画像・音声圧縮伸長技術を活用したコンテンツ配信サービスを開発、推進する。
- 3) デジタルラジオを始めとする各種課金サービスを開発、推進する。

以上